

● 長野県民医連主催 ●

第24回長野医系学生のつどい



・とき 3/30(火)~31(水)

・ところ 浅間温泉地本屋(松本市)

・参加費 1000円

(交通費、宿泊費、食事代など込み!)

患者と医療者の「絆」を考える

近年は「患者と医療者との関係」、とくにコミュニケーション技術が注目され、授業などでも力を入れられている一方で、言葉では言い表せない「患者との信頼関係」あるいは「絆」のようなものが見落とされつつあります。今回の「長野医系学生のつどい」では、長年にわたり民医連医療を担ってこられた肥田舜太郎氏を講師に、被爆医師としてのご自身の体験、その後の医師人生を踏まえて、医療者と患者との関係とは何かを語っていただきます。

～スケジュール(予定)～

3月30日(火)

13:00~ 開会式

- 「患者と医療者との絆」肥田舜太郎医師
- 質疑&グループディスカッション+全体会
- 学生レポート

18:00~ 交流会~ナイトセッション

- 「患者と医療者の事例」
- 江田清一郎医師(松本協立病院)

3月31日(水)

09:00~ ●患者さんのお話~患者体験
グループディスカッション+全体会

12:00~ ●閉会式



長野医系学生のつどい…

1986年の「民医連医学生をつどい」に参加した信州大学の医学生が「こんな企画を長野県でも!」と取り組み、「秋のつどい」として毎年開催されてきました。90年代後半からは、医療系の学生が中心となって実行委員会を立ち上げ、学習を中心に交流を行いながら今に至ります。昨年は「考えよう貧困問題、広げようみんなの医療」と題してNPO「もやい」事務局の富樫匡孝氏の講演を聞き、大町診療所を見学しました。



第20回(2006年)の医系学生のつどい



肥田舜太郎 医師

(ひだ しゅんたろう)

1917年 広島生まれ。

1944年 陸軍軍医学校卒、少尉として広島陸軍病院赴任。

1945年 広島にて被爆。以後被爆者救援にあたる。

2004年 映画「ヒバクシャ」に出演

著書に『ヒロシマを生きのびて』(あけび書房)

『内部被曝の脅威』(共著、ちくま新書)など。



参加申し込み・問い合わせ先：長野県民医連 医系学生のつどい実行委員会

長野県民主医療機関連合会 松本市元町2-9-11 民医連会館2F TEL:0263-36-1390 FAX:0263-33-1229
igakusei@n-mr.com http://www.mintyo.or.jp/min-iren/ 担当：窪田・川北・出河・鈴木